

マイカー通勤実態に関するアンケート調査結果報告

平成 22 年 10 月 13 日

長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会事務局

<目 次>

1. 調査の目的.....	1
2. 実施手法.....	1
1) 調査対象.....	1
2) 調査手法.....	1
3) 調査で把握すべき事項.....	2
4) 調査票など.....	2
3. アンケート配布・回収状況.....	7
4. 集計結果.....	7
1) 結果の取りまとめ一覧.....	7
2) 集計結果.....	8
(1) 回答者属性.....	8
(2) 通勤の実態.....	9
(3) 通勤時の公共交通利用意向.....	9

1. 調査の目的

- ・ 町民の通勤時の自動車利用の実態及び公共交通への転換意向、転換の取り組みへの企業の協力意向を把握し、次年度以降の通勤手段の転換の取り組み可能性を検討する。

2. 実施手法

1) 調査対象

- ・ 町内の「名石浜工業団地」、「長洲工業団地」の事業所のうち、従業員 50 人以上の規模である事業所の町内居住従業員を対象とする。
- ・ 該当企業は 13 社であるが、人材派遣業は勤務先が工業団地外であることを踏まえ、調査対象企業数は 12 社とした。

表 名石浜工業団地と長洲工業団地の事業所数及び町内居住の従業員数

従業員規模	事業所数		町内居住の従業員数	
		構成比 (%)		構成比 (%)
1~29 人	20	50.0%	282	21.3%
30~49 人	7	17.5%	67	5.1%
50~99 人	6	15.0%	146	11.1%
100 人以上	7	17.5%	826	62.5%
総数	40	100.0%	1,321	100.0%

町内居住従業員の約 7 割が従業員 50 人以上の規模の事業所に勤務

資料：長洲町役場

参考) 従業員規模別事業所数 (民営、平成 18 年)

従業員規模	事業所数	構成比 (%)	構成比 (累計) (%)	備考
30~49 人	149,589	2.7	5.3	* 30 人以上の累計
50~99 人	93,121	1.6	2.6	* 50 人以上の累計
100 人以上	56,563	1.0	1.0	* 100 人以上の累計
総数	5,722,559	100.0	-	

注. 総数には派遣・下請け従業員のみ 5,749 事業所を含む

資料：「平成 18 年事業所・企業統計調査 結果の概要」統計局ホームページ

2) 調査手法

- ・ 配布・・・町による訪問配布 (配布日：平成 22 年 9 月 6 日 (月))
- ・ 回収・・・町による訪問回収 (平成 22 年 9 月 17 日 (金))

(※企業担当者への回答者の提出期限：平成 22 年 9 月 15 日 (水))

3) 調査で把握すべき事項

・調査で把握すべき事項は下表のとおりである。

表 調査で把握すべき事項

着目点	調査で把握すべき事項	
通勤時の公共交通手段の利用可能性のある時間帯を把握する	通勤の実態	通勤・帰宅時間帯 主な通勤手段
通勤の移動手段の実態を把握		
自動車・バイクから公共交通への転換意向（取組み可能性）を把握する	通勤時の公共交通利用意向	通勤時の公共交通利用意向
転換、非転換意向の要因を把握する		
回答者の属性毎に差異があるかを把握する	回答者の属性	性別、年齢、居住地（行政区）、

4) 調査票など

①調査票の構成

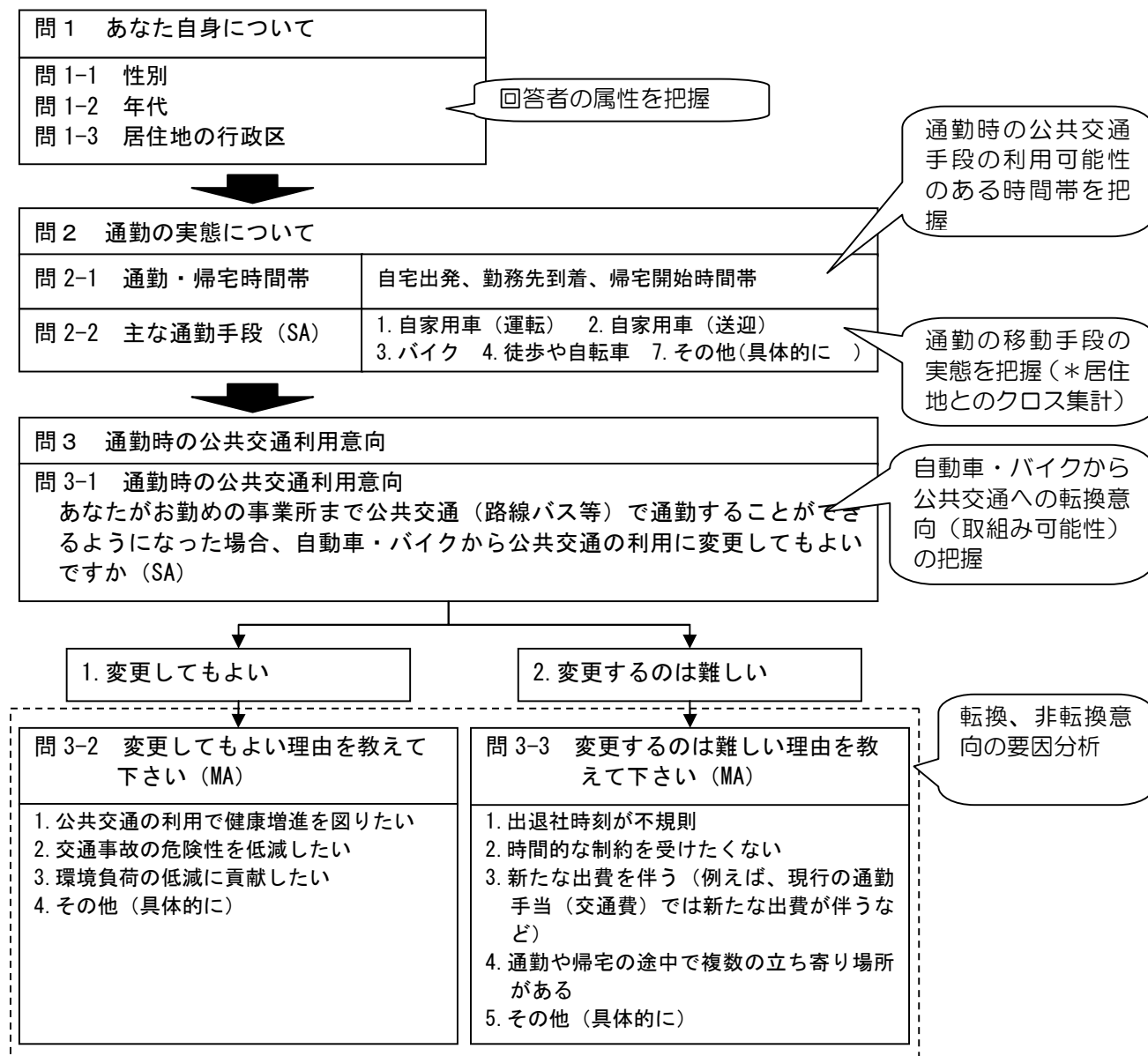


図 従業者アンケートの調査項目

②調査における配布物

ア) 調査票 (A4用紙 (両面、モノクロ))

○挨拶文

マイカー通勤実態に関する アンケート調査票

＝マイカー通勤実態に関するアンケート調査へのご協力のお願い＝

残暑の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より、市政の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

さて、今年度、長洲町は住民の移動実態・移動ニーズを把握し、公共交通サービスの問題点を明らかにした上で、公共交通サービスを真に必要なとする移動制約者のための公共交通サービスの提供と低炭素社会の実現に向けた「地域公共交通総合連携計画」の策定に取り組んでおります。

この度、町民の通勤時におけるマイカー利用実態及び公共交通への転換意向を把握し、次年度以降の取り組みの基礎資料を得るため、町内事業所 (従業員 50 人以上 [H22.4.1 現在] 事業所が対象) の町内居住従業者を対象にアンケート調査を実施することとしました。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



【ご記入にあたって】

- ◆ 質問は大部分が選択形式で、
記入にかかる時間は5分程度です。
- ◆ ご回答いただいたアンケート調査票は、
9月15日(水)までに御社のご担当者に提出して下さい。
- ◆ 回収した調査票については全て統計的な処理を行い、調査の目的以外での使用や個人が特定できるような結果の公表は一切ありません。
- ◆ お答え頂きました内容については、調査の目的以外には絶対に使用いたしません。
- ◆ 8月に実施した「長洲町の公共交通に関するアンケート調査」にお答え頂いた方も、ご面倒ですがご協力の程宜しくお願い致します。



～アンケート調査等に対するお問い合わせ等は下記までお願いします～

【調査実施機関】長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会
(事務局) 長洲町役場 まちづくり課 企画調整係
住 所：〒869-0198 熊本県玉名郡長洲町大字長洲 2766
電 話：0968-78-3239
担当者：宮本、杉本

マイカー通勤実態に関するアンケート調査票

設問 1 : はじめに、あなた自身についてお聞きします。

問 1-1 : 性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性 2. 女性

問 1-2 : 年齢を教えてください。(1つ選択)

1. 16～19歳 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50～64歳 6. 65歳以上

問 1-3 : 居住地の行政区名を教えてください。(1つ選択)

校区名	行政区名					
腹赤校区	1.平原	2.清源寺	3.上沖洲	4.腹赤	5.腹赤新町	
六栄校区	6.折地	7.赤崎	8.高田	9.鷺巣	10.立野	11.向野
	12.宮崎	13.赤田	14.葛輪	15.永方	16.塩屋	17.向野北
	18.古城					
清里校区	19.建浜	20.駅通	21.梅田			
長洲校区	22.出町	23.新町	24.西新町	25.宮ノ町	26.松原	27.新山
	28.宝町	29.磯町	30.上町	31.中町	32.下本	33.今町
	34.下東	35.西荒神	36.東荒神	37.大明神		

設問 2 : あなたご自身の通勤についてお聞きします。

問 2-1 : 通勤・帰宅時間帯を教えてください。(1つ選択) ※例：午後5時→17時と記入

- ・自宅出発時間帯：()時台
・帰宅開始時間帯：()時台

問 2-2 : 主な通勤手段を1つ教えてください。(1つ選択)

1. 自家用車(自分で運転)
2. 自家用車(家族や知人等の送迎や相乗り)
3. バイク(原付バイクを含む)
4. 徒歩や自転車
5. その他(具体的に記入：)

設問3：通勤時における公共交通の利用意向についてお聞きします。

問3-1：あなたがお勤めの事業所まで公共交通（路線バスなど）で通勤することができるようになった場合、通勤時に自動車やバイクなどの利用から公共交通の利用に変更してもよいですか？
（1つ選択）

1. 変更してもよい

2. 変更するのは難しい

※問3-1で「1」とご回答の方にお聞きします

問3-2：変更してもよい理由を教えてください。
（複数選択可）

1. 公共交通の利用で健康増進を図りたい
2. 交通事故の危険性を低減したい
3. 環境負荷の低減に貢献したい
4. その他

（具体的に記入：

※問3-1で「2」とご回答の方にお聞きします

問3-2：変更するのが難しい理由を教えてください。
（複数選択可）

1. 出退社時刻が不規則
2. 時間的な制約を受けたくない
3. 新たな出費を伴う
（例えば、現行の通勤手当（交通費）では新たな出費が伴うなど）
4. 通勤や帰宅の途中で複数の立ち寄り場所がある
5. その他

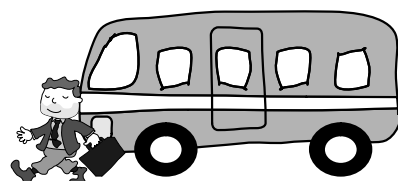
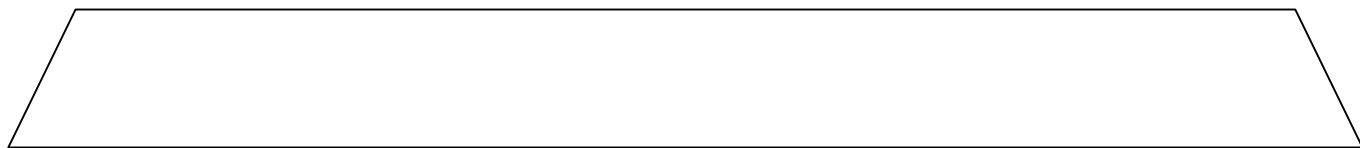
（具体的に記入：

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました～

**ご回答いただいた調査票は、平成22年9月15日(水)までに
御社の御担当者へ提出して下さい。**

イ) 配布用封筒 (角2型封筒 (茶色))

*返信は各事業所がアンケート票を個別に回収→長洲町に送付



マイカー通勤実態に関するアンケート調査票 在中

アンケートへのご協力を何卒宜しく申し上げます。

～公共交通をみんなで創り、守り、育てよう！～

〒869-0198

熊本県玉名郡長洲町大字長洲 2766

長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会
【事務局】

長洲町役場 まちづくり課 企画調整係

TEL : (0968) 78-3239 FAX : (0968) 78-1092



3. アンケート配布・回収状況

○配布票数 1,073 票に対し、回収票数は 994 票であり、回収率は 92.6%であった。

4. 集計結果

1) 結果の取りまとめ一覧

・結果の取りまとめ一覧を下表に示す。

表 結果の取りまとめ一覧

把握すべき事項		集計結果
回答者属性	性別	○回答者の性別をみると、男性が約 89%、女性が約 8%であった。
	年代	○回答者の年代をみると、「50～64 歳」が約 40%と最も多い。
	居住地	○回答者の居住地としては六栄校区と腹赤校区がそれぞれ約 38%、約 37%と多い。 ○行政区別にみると、腹赤校区の清源寺が約 22%と最も多く、次いで六栄校区の向野北が約 14%となっている。
通勤の実態	通勤・帰宅時間帯	○行きは 7 時台が約 56%と最も多く、次いで 6 時台が約 32%となっている。 ○帰りは 17 時台が約 28%と最も多く、次いで 19 時台と 18 時台がそれぞれ約 25%、約 22%となっている。
	主な通勤手段	○主な通勤手段としては、「自家用車（自分で運転）」が約 67%を占め、次いで「徒歩や自転車」が約 22%となっている。
通勤時の公共交通利用意向	通勤時の公共交通利用意向	○通勤時の公共交通利用意向を示したのは回答者の約 13%である。
	変更してもよい理由	○変更してもよい理由としては、「交通事故の危険性を低減したい」が最も多く、約 53%を占め、次いで「環境負荷の低減に貢献したい」（約 47%）となっている。
	変更が難しい理由	○変更が難しい理由としては、「出退社時刻が不規則」が最も多く、約 57%を占め、次いで「時間的な制約を受けたくない」（約 41%）となっている。

2) 集計結果

(1) 回答者属性

①性別

○回答者の性別をみると、男性が約89%、女性が約8%であった。

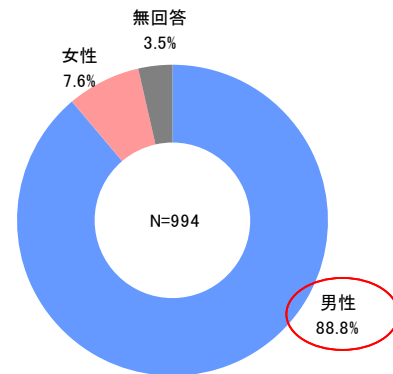


図 性別

②年代

○回答者の年代をみると、「50～64歳」が約40%と最も多い。

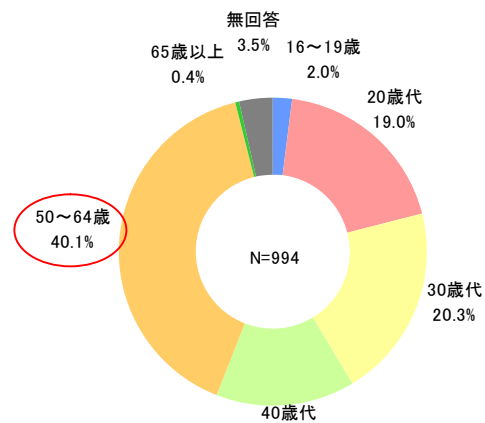


図 年代

③居住地

○回答者の居住地としては六栄校区と腹赤校区がそれぞれ約38%、約37%と多い。
○行政区別にみると、腹赤校区の清源寺が約22%と最も多く、次いで六栄校区の向野北が約14%となっている。

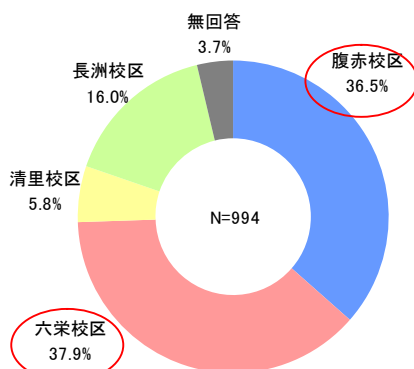


図 居住地（校区）

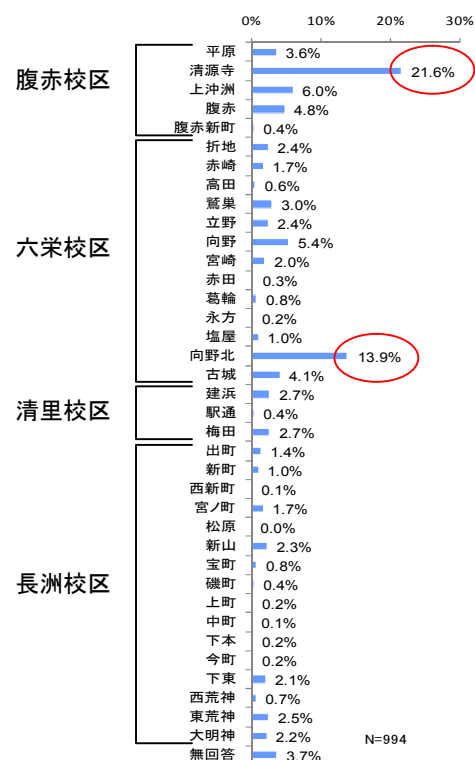


図 居住地（行政区）

(2) 通勤の実態

①通勤・帰宅時間帯

○行きは7時台が約56%と最も多く、次いで6時台が約32%となっている。
 ○帰りは17時台が約28%と最も多く、次いで19時台と18時台がそれぞれ約25%、約22%となっている。

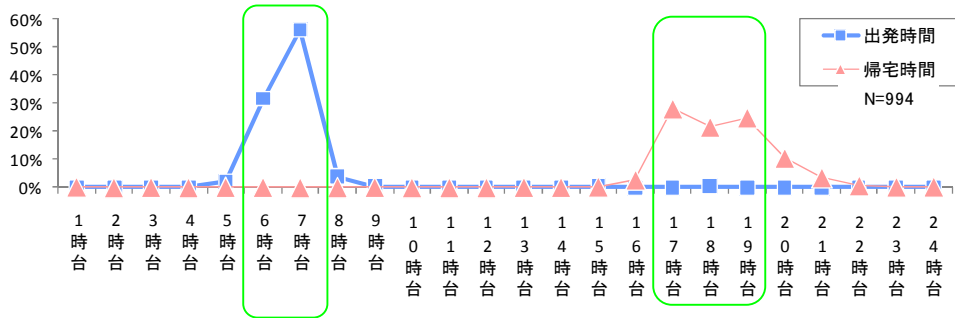


図 通勤・帰宅時間帯

②主な通勤手段

○主な通勤手段としては、「自家用車(自分で運転)」が約67%を占め、次いで「徒歩や自転車」が約22%となっている。

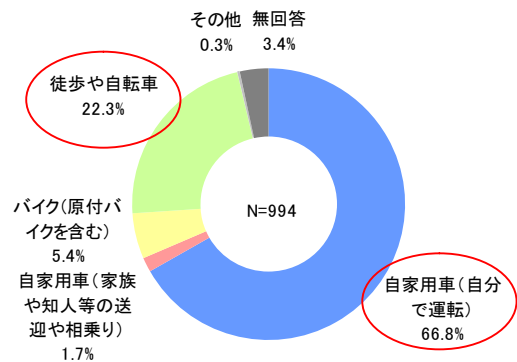


図 主な通勤手段

(3) 通勤時の公共交通利用意向

①通勤時の公共交通利用意向

○通勤時の公共交通利用意向を示したのは回答者の約13%である。

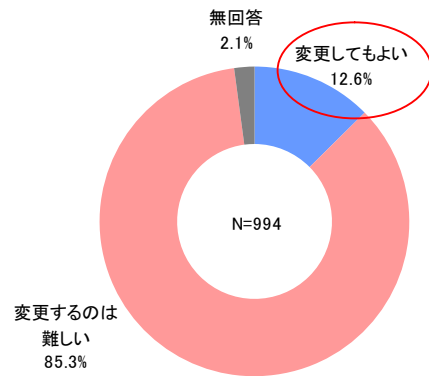


図 通勤時の公共交通利用意向

②変更してもよい理由

○変更してもよい理由としては、「交通事故の危険性を低減したい」が最も多く、約 53%を占め、次いで「環境負荷の低減に貢献したい」（約 47%）となっている。

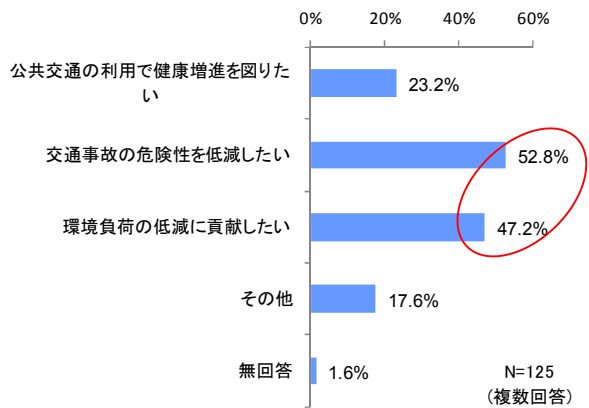


図 変更してもよい理由

③変更が難しい理由

○変更が難しい理由としては、「出退社時刻が不規則」が最も多く、約 57%を占め、次いで「時間的な制約を受けたくない」（約 41%）となっている。

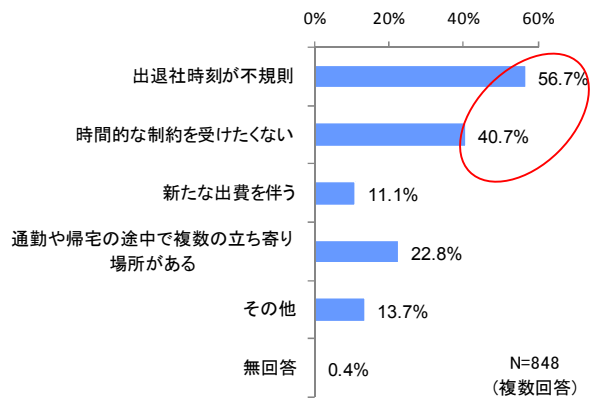


図 変更が難しい理由